



# 地域連携便り

第32号 平成28年4月発行

けいなん総合病院

地域連携委員会

副院長 倉持 元



日本透析医学会統計調査で2014年末の全国での慢性透析患者総数は320,448人となり依然として増加傾向が続いています。透析に新しく導入された患者は65歳から85歳までが最も多く、かつ原疾患は1998年より慢性糸球体腎炎にかわり糖尿病性腎症が第1位となっております。また動脈硬化から発症する腎硬化症も増加している状況です（第3位）。

この糖尿病や動脈硬化症は生活習慣とも深く関連しており、近年これらの生活習慣病（肥満、高血圧症、高脂血症、耐糖能異常、喫煙等）の対策が重要となってきました。健常人が慢性腎臓病を発症する要因として有意に高いのは高血圧や糖尿病がベースにあることがあげられ、また腎機能の低下には尿タンパク量が深く関係しています。尿タンパク量が多いほど腎機能の悪化が速く、かつ腎臓病ばかりでなく心臓病の発症も急激に増加します。よって腎臓病および心臓病を起こさないためには普段から血圧を高くしないことと糖尿病にならないような生活習慣を心がけることが大切です。そのために大切なことは、いかに早く腎疾患、糖尿病、高血圧症を見つけるかということです。各疾患とも、発症時には自覚症状がないため放置されやすい疾患なのです。そのため早期発見には家庭での血圧測定や健診や医療機関にて血液尿検査を受けることが大切です。その結果、異常が認められた場合に自覚症状がないからといって放置してはいけません。慢性腎臓病では尿タンパク量を低下させることにより腎機能低下を遅くすることができます。また糖尿病もその前段階の食後高血糖の時期に治療を開始し、さらに尿中微量アルブミンを測定することによって合併症である糖尿病性腎症の発症を防ぐことができます。この時期を逸してしまうと糖尿病性腎症は確実に進行し慢性腎不全に陥ります。また動脈硬化は加齢とともに進行しますが、これに高血圧症、高脂血症、糖尿病、喫煙が加わることによって進行は加速し腎硬化症を発症します。当院では毎年秋に妙高市と共催して慢性腎臓病市民セミナーを開催し、市民の方々に生活習慣病から慢性腎臓病を発症していく過程およびその予防についての啓蒙活動を行っています。該当する患者さんがおられたら参加されることを勧めていただけたら幸甚に存じます。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

## ～診療科紹介(禁煙外来)～



妙高市では、元気いきいき健康条例や第2次すこやかライフプラン21など、住民の健康増進活動を積極的に進めています。その中でも禁煙の啓蒙、推進は主要な柱として位置づけられます。そこで、当院では今般、禁煙外来を開設いたしました。禁煙は喫煙者にとってはなかなか難しいことでしたが、有効な禁煙補助剤の開発などもあり、成功率は高まっています。禁煙を希望される方がおられましたら是非当院の禁煙外来を受診されるようお勧めください。

<b>診療時間</b>	月曜日 午後(予約制) 事前にお電話ください (025-572-3161)
<b>初診 (30～60分)</b>	問診票記入、タバコ依存度テスト、呼気中CO濃度測定、医師による診察・カウンセリング (ニコチン代替療法の説明・離脱症状への対処法の説明、処方と2回目の予約)
<b>再診 (15～30分)</b>	禁煙状況の確認、ニコチン製剤の副作用チェック、処方量の変更、呼気中CO濃度測定(禁煙の確認)など
<b>治療期間</b>	3ヶ月程度 (医師との相談で延長可能。個人差があります。)
<b>外来通院回数</b>	5回 (プログラムに沿った受診、医師との相談で変更あり)
<b>費用</b>	総額で12,000円～20,000円程度 (保険適応あり) 金額は薬の内容で変わります。



## ～医師紹介～

ゆぐち たかし  
外科 湯口 卓



趣味：温泉

4月より外科に赴任してきました、湯口卓と申します。  
4年ぶりにけいなん総合病院で勤務させて頂けることになり、もう一度  
新井院長の粘り強い医療を学び直すつもりでいます。よろしくお願いします。

## ～ソーシャルワーカー紹介～

はねうまの里

かとう のりこ  
MSW 加藤 紀子



趣味：旅行（国内のみ）

前病院では地域包括センターと医療福祉相談室を経験させて頂きました  
が老健の勤務ははねうまの里が初めてとなります。不慣れなところが多く  
ご迷惑をおかけする事もあると思いますが、これからよろしくお願いいた  
します。

# 地域連携懇談会報告

3月8日（火）に地域の在宅ケアマネジャー様を招いて、「居宅介護支援事業所と病院の連携懇談会」を開催しました。当日は18事業所より計21名の方より参加していただきました。

病院からの話題提供として、政二副院長より「血圧の話」、MSW齊藤より「当院の病床機能とレスパイト入院」について説明した後、グループに分かれての意見交換会を行いました。

日頃の業務における当院との連携方法について、様々な意見や提案を頂くことができました。意見については当該者にて協議し、より良い連携体制が構築できるよう努めます。（以下頂いた意見の一例です）

- ・退院前カンファレンスの会場について、個人情報に配慮したスペースを提供してほしい  
→3階病棟内にスペースを確保しました。
- ・退院時サマリーを渡してほしい。  
→これまでは原則として、入所・転院患者様を対象としていました。必要ある場合はお申し出ください。
- ・ゆとりを持って退院準備に取り組めるよう配慮してもらいたい  
→退院時期や目標について早めに情報共有に努めることとします。  
必要ある場合は地域包括ケア病棟の活用も検討します。

（齊藤）

